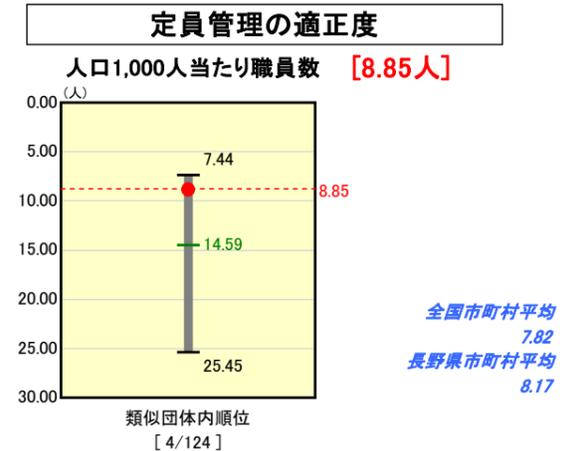
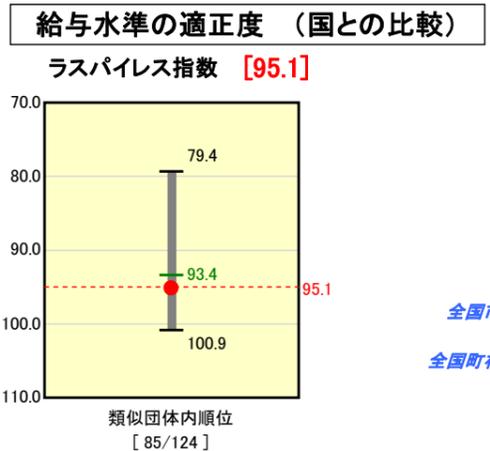
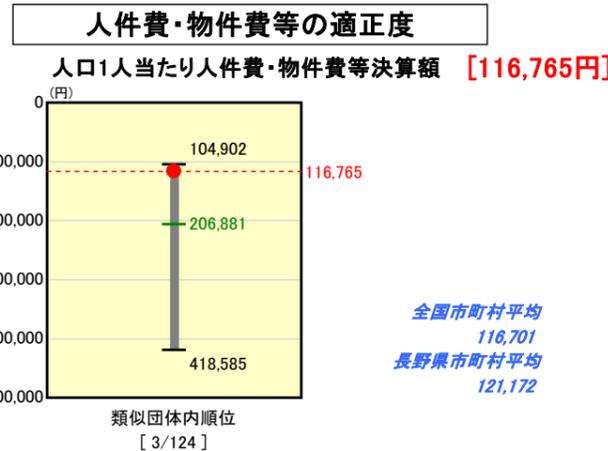
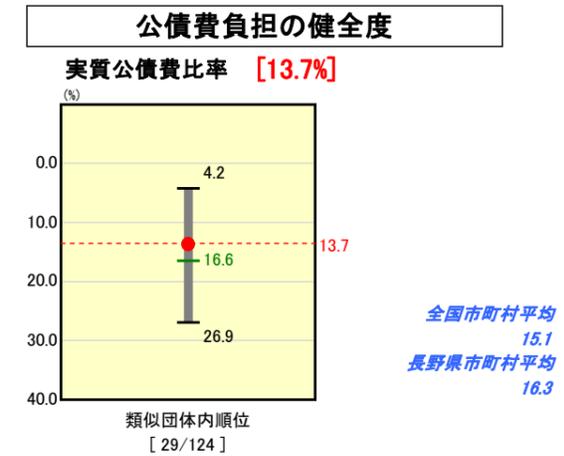
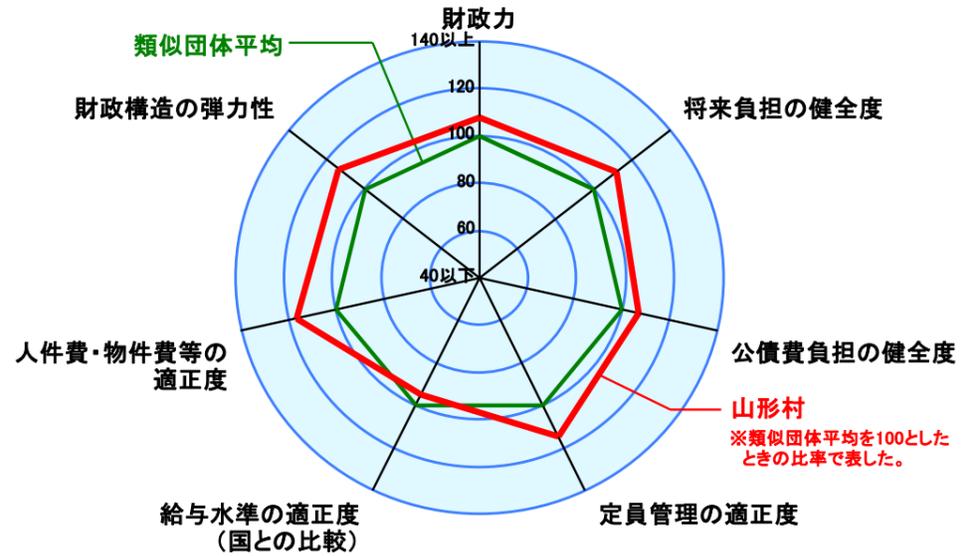
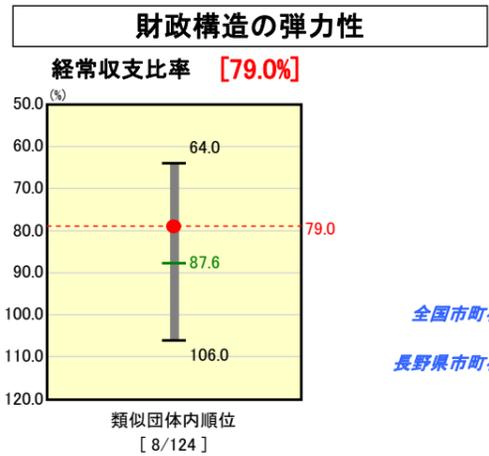
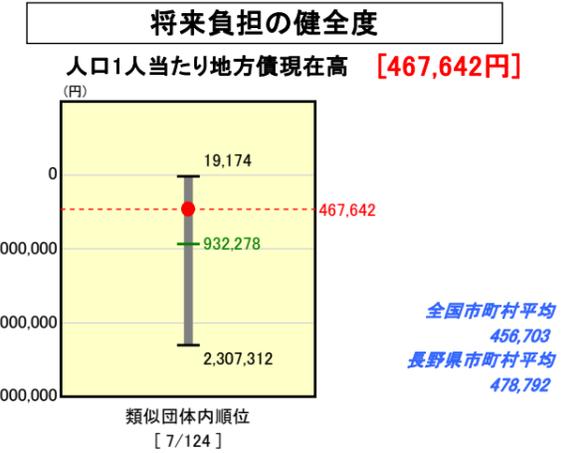
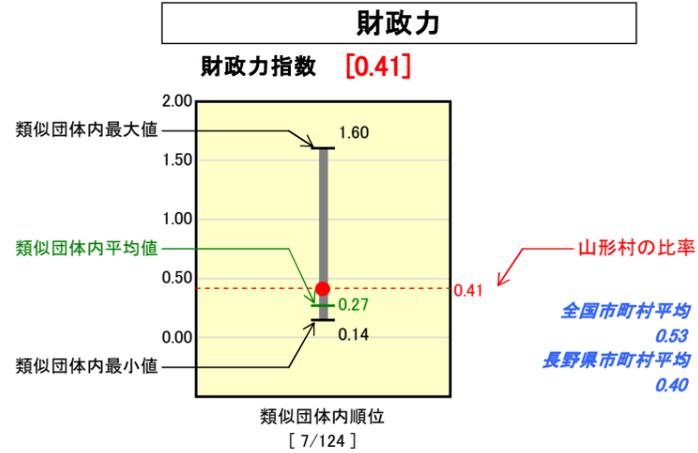


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 長野県 山形村

人口	8,583 人(H19.3.31現在)
面積	24.94 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,226,265 千円
歳出総額	3,137,937 千円
実質収支	88,328 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
人口の増加(毎年100人前後の増加)や大型店等の出店によりここ数年連続した伸びを見せており0.41(平成13年度は0.32)となっている。税の徴収率については、近年低下傾向(平成13年度と比較すると2.1%低下)であるため、税の徴収強化による歳入の確保に努める。

**【経常収支比率】**  
類似団体の平均を下回っているが、福祉関係経費の増加により比率は高い水準で推移している。「集中改革プラン」に掲げたとおり新規採用の抑制による職員数の減、手当の見直し、公債費の縮小など義務的経費の削減に努めるとともに事務事業の見直しを更に進める。

**【実質公債費比率】**  
ここ数年の繰上償還の実施により類似団体の平均を下回っていますが、今まで実施した福祉センターの建設や一般廃棄物最終処分場の建設、小学校の増築や改修に加え、平成18年度に完成したなろう原公園の整備などの償還が重なるため、平成22年度までは、上昇する見込みである。今後は、新規地方債の発行を抑制し、適切な地方債管理に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
類似団体に比較して下回っています。ここ数年は、大型事業であるなろう原公園整備事業を実施してきたにもかかわらず、地方債残高は若干減少しております。今後は新規地方債の発行を抑制し、健全財政に努める。

**【ラスパイレース指数】**  
職員の給与(寒冷手当、管理職手当、住居手当、通勤手当)の見直しを行っており今後も給与の適正化に努める。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
平成9年度から平成18年度までで 17名の18%の職員を削減してきた結果、類似団体を下回っています。現在は76名(普通会計)である。平成23年度までに4人の削減を行いより定員管理に努める。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
類似団体と比較して、低くなっている要因として、ごみ処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充てる負担金や繰入金を費用に加えれば、人口一人あたりの金額は増加します。